

校長室だより第 19 号（令和 7 年 8 月 7 日）

暑中お見舞い申し上げます。

私は仕事に研修に、そして遊び（旅行等）に忙しく、毎日が充実しています。

先日、NHK の番組「チョコちゃんに叱られる」で、以下の問題が出題されました。

円の 1 周が 360 度なのはなぜ？

いつもはいくら考えても答えにたどり着けず、もしチョコちゃんが目の前にいたら「ぼーっと生きてんじゃねーよ。」と言われてしまう私ですが、今回は正解。チョコちゃんに「つまんねーの。」と言って欲しい！

この問題は、夏休み前に 5 年生を対象に授業をしようと考えていたものと全く同じでした。実際には時間が合わずに授業はできなかったのですが……。この番組を見た子には答えがわかってしまうので、授業を行えばよかったと後悔しています。機会を見て挑戦します。それはさておき、「チョコちゃんに叱られる」は毎週、目から鱗の情報を知ることができるので楽しみにしています。

さて、夏休みなので実家に帰省される方も多いと思います。チョコちゃんが教えてくれた貴重な情報があるので以下に記します。（令和 4 年 7 月 29 日放送）

いつまでも元気でいると思いがちな両親。では、あとどれくらい一緒に過ごせるのか？

同居か。別居か。別居でも近くにいるか、遠くにいるかによっても答えは変わってくるでしょう。番組では、親元を離れ遠方に住んでいる方を例に挙げていました。仮に A さんとしましょう。A さんはお盆と正月に 3 日ずつ帰省します。つまり 1 年間当たり 6 日となります。でも帰省したとしても 24 時間一緒に過ごすわけではありません。友達に会ったり、買い物に行ったり。もちろん寝ている時間は含めません。番組では、1 日 4 時間と設定しました。確かに私が実家に行っても、母と話したり、いっしょに食事をしたりしている時間は 1 日 4 時間くらいでしょう。

つまり、（1 日 4 時間）×（6 日）＝24 時間 1 年でわずか 1 日なのです。

そして、平均寿命まで両親が生きると仮定した場合、親と一緒に過ごせる時間は次のようになります。

$(\text{平均寿命} - \text{現在の親の年齢}) \times 1 \text{ 日} = \text{親と一緒に過ごすことができる時間}$

※平均寿命は男性 81.09 歳 女性 87.14 歳

※あくまでも平均値です。個人差があります。

この 1 日は、1 年間で親と過ごすことができる時間の合計

私の母は現在 86 歳なので、あと 1 日ということになります。

1 日だなんて。衝撃を受けました。早速、母に会いに行くことにしました。

また、自分の子どもと過ごすことができる時間についても説明がありました。小学校卒業時点で 55%を消化しているそうです。確かに、中学生以上になると親子で出かける回数は減っていきますからね。

自分の両親と過ごす時間、子どもと過ごす時間。どちらも貴重な時間です。

夏休みをよい機会にして、ご両親に会いに行くのはいかがですか？